

科目名	卒業研究Ⅱ Graduation ResearchesⅡ		担当教員 (研究室番号)	専任教員全員		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	4年次 後期	科目 区分	総合科目		選択 区分	必修	単位数 (時間)	2(60)	授業 形態	演習	科目等 履修生	否
											オープン クラス	否
科目 目的	学部での学習を基盤とし、学生が自身で見出したテーマについて担当の教員から指導を受けながら研究を進め、看護分野における研究の方法や意義などについて実践的に学ぶ。											
ディプロマ・ ポリシー (DP)	主要なDP	G 看護学に対する研究的視点をもち、主体的に学ぶ姿勢を有している。(関心・意欲)										
	関連する DP											
到達 目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 様々な現状や課題の中から研究目的を明確にすることができる。</li> <li>2. 研究目的に応じて適切な研究方法を選択し、研究計画を作成することができる。</li> <li>3. 研究を進める際に倫理的な配慮を行うことができる。</li> <li>4. 研究計画にもとづき調査や実験、分析を行い、得られた結果について考察を行うことができる。</li> <li>5. 実施した研究の成果を報告書にまとめ、それを学内の報告会で発表することができる。</li> </ol>											
成績評価方法 (基準)	報告書(50%)、研究発表(32%)、研究に取り組む姿勢(18%)											
再試験の有無と 基準等	なし											
教科書	担当教員の指示による。											
参考書等	担当教員の指示による。											
学生の主体性を伸ばす ための教育方法と 学生への期待	卒業研究は、学生が自分の関心のある領域から課題を見つけ、その解決に資する研究目的を立てて自ら検証していく学生が主役の舞台である。教員のサポートを受けながら、自ら考え、自ら研究プロセスを進めて行く姿勢が求められる。											
備考												
学 習 内 容												
<p>研究指導 指導担当教員の個人指導や集団指導を通して、原則として学生一人がひとつのテーマについて研究を実施する。研究の成果は各自が単著で論文として作成し、学内報告会において発表する。</p> <p>内容 ①研究目的を明確にする。 ②関連する先行研究を把握する。 ③研究方法を選び理解する。 ④研究計画を作成する。 ⑤計画に基づき研究を実施する。 ⑥研究成果を報告書として提出し、学内の報告会において発表する。</p> <p>※ただし、履修者の研究の進行状況や教員の指導方針等により、それぞれの内容や順序が変わることがある。 また、必要に応じて三重県立看護大学研究倫理審査会の倫理審査を受ける。</p>												

## 学 習 課 題

各指導教員の指導に応じて、文献の検索・理解、研究方法の探索・習熟や得られたデータの整理など、研究のプロセスを自ら進める。

## 実務経験を活かした教育の取組

--